


2020 ~ 2021 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

●会長 松本 一也
●幹事 福井 学

 No.1720 令和 02 年 12 月 02 日 第 20 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org

ロータリーは機会の扉を開く

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■熊本東南ロータリークラブの歌「Joyful And Good」

■12月の歌「ジングルベル」

■今月の誕生日

【会員】

鈴木義親 会員 12月15日
福井 学 会員 12月21日

【配偶者】

山坂由美子 様 12月23日
内田明子 様 12月29日
矢野三佳 様 12月12日

■会長の時間

(会長 松本一也)

「司法書士と職業奉仕(1)」

今から30年ほど前、私が熊本県青年司法書士会にいたころ、全国組織である、全国青年司法書士協議会の全国研修会が、鹿児島で開催されました。その研修会の中で、熊本県青年司法書士会は「司法書士とは何か」というテーマについて発表しました。



日本の裁判制度は、明治5年制定の「司法職務定制」により始まりました。この中で代書人、代言人、証書人の基本的な職能が定められました。それは、代書人が本人に代わって訴状を作成し、代言人がそれを基に法定で弁論するという制度でした。しかし、近代国家建設のうねりの中で、国の根幹たる税金の徴収目的で登記法が制定され、実施されるようになると、代書人は裁判所に提出する訴状の作成が主な仕事であったため、裁判所周辺に事務所を構えていたこと、登記事務が、当時は裁判所で扱われることになってきたことから、代書人が登記申請手続きを代理するようになりました。その後、弁護士法が制定され、代言人が弁護士とな

り裁判手続を一手に引き受けるようになりました。しかし、代書人から司法書士となった我々は、裁判に関しては、裁判所に提出する訴状の作成は出来るが、代理人となって法定には立てないという、中途半端な状態になりました。

我々はどういう存在なんだろうか？登記の専門家ではあるが、法律家と言えるのか等々の葛藤がありました。

そこで、「司法書士とは何か」というテーマで、文学的に言えば、自分探しの旅に出ました。青年会の仲間と、各自の仕事が終わってから、毎日のように司法書士会館の会長室に集まり侃々諤々議論をし、いつも会館の近くの、五平太からうどんの出前を取っていたので、会長室がうどん臭いと苦情が出るほどでした。

その中で、古典的プロフェッションという言葉に出会いました。プロフェッションとはラテン語の profess 「(神に対して信仰を)告白・宣言する」を語源とし、中世ヨーロッパ社会では、神に「公共への奉仕をする」との誓いを立てて従事する職業として、牧師・医者・法律家等の知識専門家を指していました。彼らは職業を通して社会や人々に対して責任を負うと同時に、厳しい倫理観が要求されました。

牧師は、人々の心の病を癒し、医者は、人々の病気を治し、法律家は人間の間の紛争を解決する。これ等の職業は、人間が生きていく上で非常に大事な部分にかかわり、その知り得た情報等を悪用すれば、不正に金儲けができたり、人を恣意に操ったり、苦しめたりできる、そういう職業でもあります。法社会学者の石村善助教授は、プロフェッションを次のように定義しています。「学識(科学または高度の知識)に裏付けられ、それ自身一定の基礎理論を持った特殊の技術を、特殊な教育または訓練によって習得し、それに基づいて不特定多数の市民の中から任意に呈示された個々の依頼者の具体的な要求に応じて具体的な奉仕活動を行い、よつて、社会全体の利益のために尽くす職業である。」

分かりやすく例えて言えば、水がないと人は死にます。プロフェッションを、命の糧である水を配る職業なんだと仮定したとき、「あの人はお金持ちで、お金をたくさんくれるから水をやろう、あの人は貧乏でお金を少ししか払えないから水はやらない」とか、「この水はあの人には高く売ろう」あるいは「安く売ろう」と考えてはいけない職業なんじゃないか。つまり、好きだろうが、嫌いだろうが、高くお金を払ってくれようがくれまいが、配るものは皆に平等に配らなければならない職業じゃなからうか。それが、プロフェッションという言葉の中にある「公共の奉仕」ということではないかと考えました。

つづく

■幹事報告

(幹事 福井 学)



■今後の行事

2021	01月30(土)	地区補助金セミナー	大分県 大分市	ホルトホール大分
吉田嘉昭、松岡泰光、彌富 照皇				

■ロータリーの友12月号紹介

(会報・雑誌担当 沼田敏雄)



左側から横書 P7 ~ P9	コロナ禍により多くのクラブで対面式の会合が聞けなくなって居りますが、イギリス、インド、ドイツ、アメリカ、ブラジル各国々例会方法が掲載されています。
左側から横書 P12 ~ P21	新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査による各地区からの意見が掲載されています。 最終的には、コロナ騒動も終わり、元通りに生活できる日が訪れると書いてあります。
左側から横書 P34 ~ P35	バギオ基金に付いて掲載されています。 "バギオの若者を支援して40年日比をつなぐバギオ基金" バギオ基金は、フィリピンの日系および一般青少年を支援しています。 バギオ基金の生い立ちと背景が掲載されています。
左側から横書 P58 ~ P60	2020年9月国際ロータリー理事会の決定事項掲載あり 理事会は2020年7月1日現在の会員数に関する報告を受理。 ロータリアン総数 117万4,890人(2019年から1万4,576人減少) クラブ数 3万6,159(2019年から269クラブ上昇) 3ヶ月後、※P60には2020年10月19日現在 ◎全世界ロータリアン総数 1,194,505人(2020年7月1日統計より19,615人減) ・クラブ数 36,350クラブ ・地区数 523地区 ・国と地域 200以上 ◎ローターアクト会員数 208,599人 ・クラブ数 10,985クラブ ・国と地域 160以上 ◎インターアクト会員数 349,761人 ・クラブ数 15,207クラブ ・国と地域 150以上と掲載あり。
左側から横書 P60	今後のRI国際大会 2021年6月12日~16日 台湾 台北(予定)

右側から縦書 P9 ~ P12	この人訪ねて… 玉名中央ロータリークラブ矢野希美さんの人生が掲載されています。 東京ドーム3個分ジャージ牛1種30頭飼育、他に色々生産されている玉名牧場の経営が掲載されています
右側から縦書 P16	松島トモ子さん 東京恵比寿RC会員 お母さんと二人三脚で芸能界を生きて来られた松島トモ子さん ロータリーと家族との関係掲載。
右側から縦書 P22	熊本城東RC…熊本豪雨被災地で炊き出し掲載あり。
右側から縦書 P26 上段	阿蘇RC、肥後大津RCと竹田RCが、断線を歌でつなぐ豊肥線プロジェクトと題して掲載あり。
右側から縦書 P26 下段	和歌山東南RCの記事あり。

■委員会報告

(青少年奉仕担当 宮川義行)



アクト11月第2例会が11月30日Zoomミーティングとして行われ、鬼滅の刃だけではなく多くのアニメ作品が社会問題や若者の心の問題に真正面から取り組んでいる現状についての報告が馬氷君からありました。

11月27日は東南・城東・グリーン合同例会が新公寺で行われました。今回は異業種交流会をしてゲストが4名、ロータリーから6名、合計13名の参加でした。城東の悩みや夢を語り合えた有意義な会議となりました。城東ロータリーから、開会員、野口会員、林田会員、松田会員、大津ロータリーから鍋島会員、東南からは私が参加しました。特にアクト出身のロータリアンが積極的にアクトの再生に力を注いでくれています。皆さんの協力をよろしく願います。

■委員会報告

(職業奉仕担当 古田哲朗)



職業奉仕のハイブリッドセミナーが11月21日(土)に行われました。後日、2720地区のホームページに録画されたものがアップされる予定です。資料もホームページからダウンロードできます。ご活用よろしく願います。

■出席報告

(出席・プログラム担当 杉本整哉)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
10月18日	42 (免3) 39	32	4	36	92.31
12月02日	43 (免3) 40	30			75.00

☆新入会

11月25日 武末直大

☆出席免除
10月18日
住江正治 鷺山法雲 島村徹男
12月02日
住江正治 佐野 茂 島村徹男



☆欠席者（3名）
11月18日 山坂哲生 川崎直樹 山本浩之

■スマイル報告

(親睦・スマイル担当委員
松田和成)



◎前田日出夫 10,000円



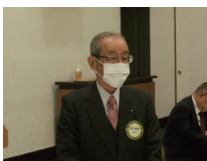
本日の社会奉仕の卓話の時間、みなさんご協力の程、よろしく申し上げます。また、毎週朝早くからLINEでの連絡、杉本会員ありがとうございます。

◎宮川義行 7,000円



鷺山先生、寒い中ご来訪ありがとうございます。毎朝の冷え込みが厳しくなってきました。皆さん、お身体に十分お気をつけ下さい。熊本地震復興支援「健さん」試写会でお世話になった西村さんが本を出されました。今年最後の銀幕スター高倉健さんの7回忌になります。26年間、健さんのマネージャーをされた西村さんが「高倉健からアホと呼ばれた男」という本を出版され、小川さんから買ってこれと催促が来ています。皆さんよろしく申し上げます。熊本地震から4年、ようやく仮設住宅も撤去されましたが水害の復興はこれからです。忘れずに取り組んでいきましょう。

◎鈴木義親 5,000円



12月になりました。誕生祝いありがとうございます。コロナの状況が気になる師走になりますね！

◎内田信行 3,000円



妻の誕生祝いありがとうございました。

◎福井学 3,000円



誕生祝いありがとうございます！今月で60才になります。今後の人生計画を改めて考える年齢になったと実感しています。

■社会奉仕委員会卓話

(社会奉仕担当 前田日出夫)



社会奉仕活動について、各テーブルで、意見をまとめて発表



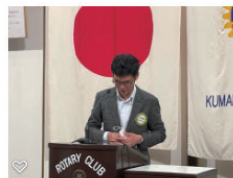
テーブル番号 2

記録者 福井学
発表者 松岡泰光

- ・清掃活動
- ・リサイクルボランティア～ペットボトルのキャップ（※ポリオも！）
- ・古切手～寄付
- ・古本～寄付

・金銭の寄付よりも～

・定期的な奉仕活動～①サマーキャンプ、②伝承遊び、③自転車支援



テーブル番号 3

記録者 杉本整哉
発表者 杉本整哉

- ・年度別に毎年新しい奉仕活動を見つけて行っていこう。（毎年、奉仕活動の内容が替わる。）

・10月14日に外部卓話をいただいた「外国にルーツをもつ子どもたち支援」を行っている竹村さんの活動風景を見学へ行き、内容をみて支援してみ

てはどうか。

・姉妹クラブと協同で奉仕活動を行ってみたいはどうか。



テーブル番号 6

記録者 松岡歩紗実
発表者 松岡歩紗実

- ・〔現〕慈愛園サマーキャンプ、伝承あそび、自転車寄贈
- ・社会奉仕の定義
- ・外国にルーツを持つ子ども達
- ・子ども食堂



テーブル番号 7

記録者 緒方公一
発表者 緒方公一

- ・例会を行っているキャスルさんの周囲を2ヶ月に1回清掃例会を行ってみたいは。



テーブル番号 8

記録者 彌富照皇
発表者 彌富照皇

- ・災害については寄付金だけではなく、現場奉仕も必要では。
- ・RCについて認知度アップ、街頭募金などを通して組織で協力し合っていくこと。

・人吉の災害奉仕を行う前に情報収集して周知した上で役割分担をしてより強く。

・昔、柔道など体育館退会の主催をした。ヒントを頂く事。



テーブル番号 1
発表者 堤 勝也

施設の高校生通学用自転車寄贈支援
～ 準備および実施の流れ ～

★は地区補助金申請手続きの流れ

	★1月下旬or2月上旬 地区補助金管理セミナーに参加(参加しないと補助金申請ができない)
	★1月末～2月 地区とMOU(覚書)を交わす(実施年度の会長&会長エレクトの署名が必要)
3月	熊本県社会福祉協議会施設福祉課から寄贈対象施設並びに寄贈台数(予定)を教えてください。
	★3月末 受給計画書提出
	★4月末 地区補助金の申請
	★地区補助金専用口座開設
12月上旬	熊本県養護協議会会長の許可を得てから、各施設に新高校に通学用自転車購入資金の支援金を贈呈する旨を文書にて連絡する。
1月上旬	各施設に支援金の贈呈の際に受け取りの領収書を用意していただくことと自転車購入後に写真の提供をしていただくようお願いの文書を郵送する。
	★1月15日まで 補助金送金依頼書を提出(地区から毎月20日に振込)
1月中旬～下旬	熊本東南RC全会員を班分けし、各班のリーダーが担当の施設に連絡を取って訪問、支援金を贈呈する。(贈呈の様子を撮影しておく。)
3月末日迄	各施設より自転車購入後の写真が送られてくる。
	★4月15日まで 事業報告書を提出(通帳、写真、領収証を添付)
	完了!

★2020～2021年度地区補助金金額 350,000円

クラブ拠出金 370,000円 + 地区補助金 350,000円 = 総事業費 720,000円
(自転車1台あたり15,000円支援 × 48台分)
(施設16ヶ所)

■点鐘

編集者 沼田敏雄

●グローバル補助金奨学生 川原瞳さんからの報告 (11月分)

マンチェスター大学での大学院留学開始から2ヶ月が経過しました。11月頭から1ヶ月間イギリス全土でのロックダウンが実施され、不要不急の外出が禁止されています。大学院では、今月に入り、本格的に講義が始まり課題も多く出されるようになりました。そのため、あまり外出する余裕も無く、ロックダウンの実感があまりないのが正直なところ。コロナの状況が落ち着いたら、ストックポートの受け入れ先ロータリークラブ様にも顔を出したいと考えています。

今月は、課題に追われて非常に忙しくも充実した毎日を送れたのではないかと自負しています。現在は、サイエンスコミュニケーション入門というコースを受講していますので、そこで学んだことを少し紹介できればと思います。日本ではサイエンスコミュニケーターというと科学館で働く学芸員が真っ先に思い浮かべられますが、実際には、科学出版社員、科学ジャーナリスト、大学の研究広報員、テレビの科学番組やドキュメンタリーのプロデュー

サーなど、活躍の場はさまざまあるようです。私が今最も注目しているのは、科学ジャーナリストという職業です。日本ではあまり馴染みのない職業ですが、イギリスをはじめとする英語圏ではBBCやThe Washington Post、The Guardianといった主要な新聞社に所属している科学ジャーナリストたちが、最新の科学に対する記事を投稿して、社会に科学を広める役割を担っています。日本では、一般の方々の科学に対する関心が薄く、サイエンスコミュニケーションという観点では欧米諸国から大きく遅れをとっているとされています。日本だけでなく、途上国にも同じことが言えます。私はサイエンスコミュニケーションを通して、社会に正しい科学リテラシーが浸透していくように手助けができればという思いで今後も勉学に励んでいきたいと思っています。

さて、最近は講義や課題に追われる日々ですが、その他の時間には卒業後の進路について考えています。博士課程に進学するべく入試情報などを調べております。私が専攻しているサイエンスコミュニケーションという学問はとても新しい学問であるため、世界中どこを探してもなかなか研究室を見つけるのが難しい状況です。そんな中で、東京大学で科学コミュニケーションを研究しているいらっしゃる教員の方がいらっしゃったので、近いうちにコンタクトを取って今後の相談をしていこうかと考えています。まだまだサイエンスコミュニケーションを勉強し始めて間もないですが、今後の進路についても引き続き考えつつ勉学に励みたいところです。

ロータリークラブの皆様のおかげで勉強を続けられていることを忘れずに、今後の留学生活も楽しんでいきたいと思っています。



先日、友人とパンを焼きました。

12月 疾病予防と治療月間

2014年10月RI理事会は、12月を重点分野である「疾病予防と治療月間」としました。目的は、疾病の原因と影響を減らすための活動と研修の支援です。

ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような形で疾病を予防し、健康を促進するのを支援します。

1. 地元の医療従事者の能力向上。
2. 伝染病の伝播を食い止め、非伝染病の発生とそれによる合併症を減らすための疾病予防プログラムの推進。
3. 地域社会の医療インフラの改善。
4. 主な疾病の蔓延を防止するための、地域社会の人々の教育と動員。
5. 疾病またはけがによって引き起こされる身体障害の予防。